

ふらここに寂しき鉄の匂ひあり  
 チューリップやはり整列したくなり  
 鳥帰る島には島の波の音  
 つくしんばう土筆誰の子私の子  
 雪達磨午後には歪む目鼻立ち  
 節分や湯気のでさうな土竜塚  
 我よりも長きわが影春の月  
 風信子紫色が重たさう  
 天を突く如き百段雛飾る  
 花馬酔木日ざしの中に椅子二つ  
 節爆ぜる音の高鳴り野火走る  
 大阪城の巨石濡らして春の雨  
 この空は白鳥の道頭上過ぐ  
 窓の雪ひと日眺めてすべもなし  
 解けかけの雪だるま雪降りつもる

鹿志村	奥田	高橋	猪俣	山口	小林	小口	菅谷	岡崎	千本	小林	勝	倉持	加倉井	秋山
久美子	郁子	伸	紀子	はる江	眞弓	隆光	睦	桂子	裕子	恵美子	久祥	たけし	悦子	佳代

冬雲の重く座したり日本海  
 店先にストック並び春加速  
 校章の大きく丸く春の風  
 通り過ぐ雨の明るさ大枯野  
 沖の沖まで海明けのオホーツク  
 菜の花は千葉県の花千葉が好き  
 放課後の理科室バレンタインデー  
 対岸は行方台地薄霞  
 凍返る堂の柱の黒光り  
 海へ向く無人駅なり東風立てり  
 麦の芽の一直線は雨を待つ  
 麦青々と挑戦は何度でも  
 寒雀いつせいに飛び皆元気  
 瀬の音に竹百稈の冴返る  
 冬林檎力かぎりの蜜なりし

伊藤 美津子  
 安田 青葉  
 今瀬 英一朗  
 島津 教恵  
 三浦 香都子  
 小久保 寛  
 金田 博子  
 仲澤 雅江  
 白鳥 兼子  
 中原 修子  
 岩上 恵美子  
 後藤 邦代  
 下田 栄子  
 後藤 勝代  
 千綿 史